

【興部町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

ICT を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学びの実現」という新たな学びの在り方が示され、一体的な充実を図ることで、個に応じた指導の充実を図ることが必要とされている。ICT の導入による学習支援ソフト、デジタルドリルの活用や遠隔授業ができる体制の整備、家庭学習での活用を行っている。今後は「主体的・対話的で深い学び」の実現につなげていくことが求められ、児童生徒が ICT を日常的に活用することにより、自らの情報活用能力の推進を行う等の効果が期待できる。

2. GIGA 第 1 期の総括

1人1台端末を実現し、各校のネットワーク環境整備を実施している。

ICT 端末を活用した授業は行っており、教員の対応能力の向上が求められる。

令和4年度からはICT支援を業務委託することにより、教員や児童生徒向けの研修を行い校内のICT化の推進に取り組みを実施した。

端末を持ち帰っての家庭学習については、現在も実施しているが日常的に持ち帰っての学習とはなっていないため、今後は学校と協力し、より活用の促進を図っていく。

3. 1人1台端末の利活用の促進

1人1台端末の積極的に活用していくために、教職員の研修を促進するとともに、授業での活用がさらに進むよう、デジタル教科書の導入、周辺機器の整備を行う。

個別最適・協働的な学びの充実

児童生徒がICTを活用し、自ら学び、表現するため充実した環境を維持することを目指していく。

学びの保障

様々な理由により学校にいくことができない児童生徒に対して、ICT 端末を利用し遠隔での授業を行ったり、端末を利用して学校とのつながりを持たせ、児童生徒の相談対応や学校とのコミュニケーションのツールとして有効活用できる方法を検討していく。